様式第１６号（第２６条関係）

（表）

煙火消費計画書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 煙火の種類 | 打揚煙火の大きさ（号） | 煙火の数量  （個・台） | 備考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

点火及び打揚の方法

|  |  |
| --- | --- |
| 煙火の種類 | 該当方法を○で囲むこと |
| 単発 | 筒口から落とし火による。導火線又は速火線による。 |
| 連発 | 筒口から落とし火による。導火線又は速火線による。 |
| スターマイン | 電気点火による。導火線又は速火線による。 |
| 裏打ち | 筒口から落とし火による。導火線、速火線による。 |
| 特殊仕掛け  （水爆・金魚） | 陸上に固定した筒から打ち込む。  導火線に点火後水面に投げ込む。  水中に立てた棒等に筒を固定し、速火線を利用して打ち込む。 |

（裏）

煙火消費計画書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 消費の方法 | 打揚方法　□単発　　　□連発  固定方法　□ブロック　□土のう　□その他（　　　　）  点火方法　□導火線　　□その他（　　　　　　）  煙火置場　□あり　　　□なし | | | |
| 製造業者若しくは  販売業者の氏名又は  名称及び所在地 |  | | | |
| 打揚業者の氏名又は  名称及び所在地 |  | | | |
| 危害予防の方法 | 警戒の方法 | | 別図のとおり立入禁止区域を設け、警戒員○○○名を配置する。 | |
| 防火措置 | | □消火用水　□消火器　□その他（　　　） | |
| 防護措置 | | 打揚の際の衝撃により、打揚筒の方向が変化しないように確実に固定する。 | |
| 不発処理 | | 筒内における不発は、多量の水を注入し、燃え残りの星等は、速やかに回収し水に浸す。 | |
| 連絡体制の確保 | 主催責任者　　　　　　　　　　電話  打揚現場責任者　　　　　　　　　　電話  管轄警察署　　　　　　　　　　電話  管轄消防署　　　　　　　　　　電話 | | | |
| 消費場所において  火薬類を取り扱う  必要のある者の氏名 | 作業区分 | 氏名（年齢） | | 手帳の種類・番号 |
| 点火・補助 |  | |  |
| 点火・補助 |  | |  |
| 点火・補助 |  | |  |
| 点火・補助 |  | |  |
|  |  | |  |
|  |  | |  |
|  |  | |  |

添付書類

　　１　消費場所の地図（案内図）

　　２　消費場所平面図（打揚場所、立入禁止区域の範囲及び設置方法（カラーコーン、ロープ、バリケード等の配置）、保安距離、防火措置（防火用水及び消火器の設置位置並びに数量）、警備員の配置等を記載）

　３　必要に応じ土地建築物等所有者の承諾書（学校、公園、道路等の使用許可及び河川使用届その他のもの）

　４　手帳の写し（申請に間に合わない場合は、日本煙火協会への手帳交付申請書の写し又は手帳取得に係る「保安講習の講師名」及び「保安講習受講日（予定日）」を手帳の種類・番号欄に記載し、手帳交付後に写しを提出すること。）